

●生活・法律相談は

◆市議会議員
高野 とも (7155) 1683
◆市議会議員
いぬい紳一郎 (7159) 2773
◆市議会議員
小田桐たかし (7154) 0878

◆市議会議員
安西 孝之 (7148) 6870
◆元市議会議員
若王子博夫 (7159) 0861
◆元市議会議員
せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2005年新春号

第144号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加 4 -1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail:kfbkd645@ybb.ne.jp

希望のもてる日本めざし

今年もがんばります

日本共産党



2005年

迎春

新しい年明けを、みなさんはどのように迎えられたでしょうか。

昨年市議団がおこなったアンケートによると、「暮らしがよくなった」という方は、わずか1・4%。「苦しくなった」かなり苦しくなった」が72・6%となりました。1年前に比べて「収入が減った」方は、77・1%。市民生活がいかに深刻かが示されています。

一方国政では、昨年末にイラクへの自衛隊派兵の延長を決定。定率減税の縮小・廃止や消費税増税を押し付けようとするなど、平

和でも暮らしでも国民の願いとかけ離れた政治が強められてきました。

「今年こそいい年にしたい」というのが、みなさんの共通の思いではないでしょうか。

私たちはこの間、「国民の苦難と要求あるところ日本共産党あり」の立場での活動を重視してきました。国政でも市政でも、みなさんの願いを運び、積極的な提案をして、希望のもてる日本のためにがんばります。

2005年 新春のつどい

日時 **1月30日(日) 午後1時**

場所 **南流山センター ホール**

主催 **日本共産党流山市委員会
日本共産党流山市後援会**

会費:500円

「6億5千万円の天然温泉が今なぜ必要か」との厳しい批判を受けた地域融和施設計画。日本共産党は市民のみなさんと世論を広げ、議会でも繰り返し追及した結果、市長は3億円の見直し案を発表。世論と運動の成果です。

その他、こんなことも実現しました。

- 新ごみ焼却場の外壁破損事故を国会議員と調査
- 職員不正採用の疑惑究明を求める決議を提案し、採択させる
- サポート教員2名増員

みなさんと力をあわせ実現しました

2004年日本共産党市議団の実績

- 児童館の修繕費増額、フルタイムの臨時職員の増員
- 障害者の入浴サービスを月3回から4回に
- 南流山駅地下駐輪場の開業時間延長
- 全小中学校の耐震診断と、北部中・東部中・流山小の耐震改修
- 駒木台の大堀川改修
- 県立高校統廃合反対の意見書・陳情書採択
- ヤミ金で苦しむ方の相談活動を行うとともに、市のホームページを充実させる
- 生活保護のしおりの充実を約束...など
- 児童館の修繕費増額、フルタイムの臨時職員の増員

景気破壊の増税反対！ 守ろう憲法9条

憲法が暮らしのすみずみに生きる県政を

日本共産党

「自民党県政を変えたい」との県民の願いを受けて、4年前に誕生した堂本県政。実態はその願いとあまりにもかけ離れています。

流山東高校を含め15の県立高校を減らす計画を強行。私学助成は年々切り詰め、とうとう全国最下位に。福祉手当への補助金もカットしました。

「財政危機」を福祉などの切り捨ての理由にしながら、一方で常磐新線と沿線開発には、すでに1千億円以上もつ

ぎ込んでいます。

その上に、イラク派兵を支持し、憲法9条守れの声を上げること拒否。消費税増税は国が決めることと知らんぷり。こんな県政でいいのでしょうか。

今年3月には県知事選挙があります。県民すべてが大切にされ、憲法が暮らしのすみずみに生きる新しい千葉県政を作り上げようではありませんか。日本共産党はそのために全力を尽くします。

	共産党	日本新社会	創成会	公明党	新志会	市民連合	社民・民進
H16一般会計補正予算	×	○	○	○	○	×	○
障害者福祉手当のカット	×	○	○ (注)	○	○	×	○
定率減税の縮小・廃止に反対する意見書	○	×	×	×	×	○	○
新潟中越地震などの災害への公的支援を求める意見書	○	×	×	×	×	○	×

(注) 創成会の北村議員は反対した

「生活が苦しい」7割 (市政アンケートより)

生活を守る市政 ともに作りましょう



市議会議員
高野 とも



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
安西 孝之

水害でも地震でも 住民の苦難なるいかに奮闘

流山市における台風22号・23号の被害は、床上・床下浸水120軒、道路冠水77ヶ所等、市民生活に大きな影響をもたらしました。

緊急街頭募金を募り、市議会もボランティアに参加。地域住民や行政と力を合わせ、庭先での仮設住宅建設など復興支援に取り組んでいます。

日本共産党市議団は、市内パトロールや水害多発地域で土のうの設置などを手伝い、その後も現地調査を実施。市長への要請とあわせ、12月議会でも改善を求めました。

水害が多発する駒木台では、河川改修費が予算化され、「ボントによかった」と喜ばれています。

また、新潟中越地震には、



新潟中越地震での支援活動

議会最終日の本会議。委員会の決定を差し戻し、再審査でようやく可決するという異常事態に…。重度障害者への福祉手当削減をめぐる混乱です。「財政が苦しい」とたった280万円の支出を

豪華天然温泉の計画を撤回、 3億円の見直し案発表 地域融和施設

昨年「温泉付き入浴施設（6億5千万円）」に計画変更し、大問題となった地域融和施設。9月議会で見直しの方向を示唆。12月議会では、天然温泉を断念、事業費も3億円に削減する案を発表しました。市民の厳しい批判や共産党の指摘を

受け入れ、計画を見直したことは評価できます。

すでに、地元説明会が行われ、補正予算に設計費を組み込みましたが、拙速に事をすすめるのではなく、市民にも公表し、市民合意で見直しを行うことが必要ではないでしょうか。

重度障害者の手当を削減！ 福祉切り捨てやめよう迫る

重度知的障害者やねたきり身体障害者の福祉手当を3割も削減。そのうえ所得制限を導入し、支給が停止される方も出てきます。

県の制度改悪が根本的な理由ですが、市長がすすめる「市独自の扶助費」削減の流れに沿ったものです。

重度障害者の生活が困難な状況にあることや常時介添え

カット。こんな市政に未来はあるでしょうか。日本共産党は、巨大開発のムダ使いこそ見直し、市民の暮らしを支える市政をと主張。他党にも影響を与え、12月議会の論戦をリードしました。

巨大開発のムダ使いそのままに 駐輪場も下水道も値上げ！ 市民への負担増は許せません

新年度予算編成作業がすすんでいます。今後、公共料金の有料化や値上げが目白押しです。

10月から市直営駐輪場の4倍（月千円）で有料化された南流山駅既存駐輪場。市民間の格差をどう説明するのかとの追及に、市長は「比較する方がおかしい」と答弁。18年度から全駅で値上げすると

「平成5年から値上げして

がなければ生活できないこと、必要なサービスが受けられない実態を示し、「手当の維持は、一般会計の0・013%でできる仕事。削減は絶対に許されない」と撤回を求めました。

引き続き、福祉や市民サービスの後退を許さないためにがんばります。

国保も生活保護も国の責任は欠かせません

12月議会での私たちの追及に対して、国保料の値上げは「今はできない」と市長が明言。

市議団がおこなったアンケートには、「国保料が高すぎる」「生活が苦しい」というたくさんの声が寄せられ、深刻な生活相談も急増。今こそ人間らしい暮らしの保障が、政治に求められています。

ところが政府は、「三位一体の改革」で社会保障に対する国の責任を大きく後退させ、国保や生活保護への負担をカッとしようとしているのです。

これには全国から、「地方への負担転嫁は到底受け入れられない」と抗議が…。流山市も「国に要望していきたい」と答弁しました。



身近な要求実現

まさご寿司横交差点に
信号機設置 高野 とも



流山街道、消防本部
付近の振動対策 いぬい 紳一郎



駒木台、大堀川改修
工事予算化 小田 桐たかし



国道6号、向小金1丁
目付近の水害対策 安西 孝之

